

Vol.19(2021) No.09(04/28)L07

SARS-CoV-2 501Y.V2変異株は南アフリカのCOVID-19ドナーの血漿による中和から逃避する

[SARS-CoV-2 501Y.V2 escapes neutralization by South African COVID-19 donor plasma](#)

Wibmer CK, Ayres F, Hermanus T, et al.

【Nat Med. 2021 Apr;27(4):622-625】-peer reviewed(査読済み)

(抜粋・要約)

南アフリカ型のSARS-CoV-2 501Y.V2(B.1.351)変異株は、COVID-19を引き起こすコロナウイルスの新系統であり、そのスパイクタンパク質の2カ所の免疫優性ドメインに変異を有する。本研究で、501Y.V2スパイクタンパク質を発現するシュードウイルスが、治療上重要な3種類のクラスの抗体を完全に逃避することが示された。また、このシュードウイルスは回復期血漿による中和(結合せず)からも、大幅に、あるいは完全に逃避した。これらのデータから、抗原的に異なる変異株による再感染が起こる可能性が明確に示され、スパイクタンパク質をベースとしたワクチンの有効性を低下させることが示唆される。